

野本れいこ



いつでも再チャレンジできる社会を！

1. 「働く」を改革する

- ◆ 正規雇用につながる公的職業訓練の充実・就業までの伴走支援を
- ◆ 子育てと仕事を両立できる仕組みづくりを

2. 子供たちへの多様な教育環境を用意する

- ◆ オンラインを活用した国際交流を
- ◆ 不登校の子供たちへの支援を

3. 安心して住み続けられる浦和区をつくる

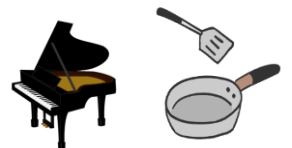
- ◆ お年寄りを孤立させない地域のつながりを
- ◆ 荒川氾濫時に備えた自然保全を

プロフィール

- 1977年 埼玉県秩父出身の父と神奈川県横浜出身の母との間に生まれる 45歳 巳年
 私立香蘭女学校中学校・高等学校卒業 高校生徒会長も務める
- 1999年 新党さきがけを旗揚げした田中秀征先生主宰「民権塾」1期生
- 2000年 早稲田大学 政治経済学部 政治学科卒業
 在学中 前米沢市長である安部三十郎氏の選挙を手伝い
 民主主義の力を「市民力」に見出す
 大学卒業後 母校である香蘭女学校入職
- 2004年 一男二女の子育て 専業主婦を11年経験
- 2015年 民主改革さいたま市議団で政務調査員を6年半務める
- 2021年 厚労省主催 就職氷河期世代向け再就職支援プログラム履修
- 2022年 衆議院議員 落合貴之政策スタッフ

趣味

- ♪ ピアノ（特にショパン）
- ♪ 料理



NPO法人「民権塾」副理事長

◆ 皆様のお声をお聞かせください ◆

夢のある埼玉県をみんなで作る会

連絡先 080-6029-8268

yume.saitamakai@gmail.com

「まちづくりアンケート」のご協力もお願いします

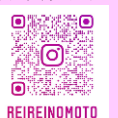


野本れいこ

ツイッター



インスタグラム



REIREINOMOTO

「働く」を改革する！

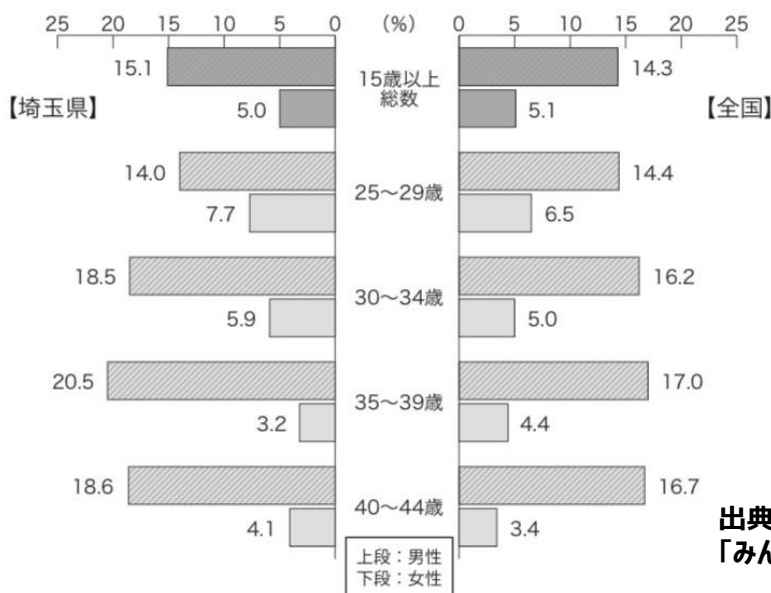
子育てと仕事を両立できる仕組みづくりを！

★正規雇用で働く男性、女性も長時間労働を見直し、**ワークライフバランスのとれた生活ができるように企業への働きかけが必要**です。

★**男性の育児休業取得率（埼玉県 令和3年度は16.5%）**を上げ、厚労省が認定している子育てのしやすい企業「**くるみん認定企業**」や、**埼玉県**が認定している「**多様な働き方実践企業**」を増やしていきます。

埼玉県の子育て世代（25才～44才）の男性は、長時間労働の割合が高い

子育て世代の長時間労働（週60時間以上就業している人の割合）



埼玉県の年間就業日数200日以上 of 男性のうち、**週60時間以上就業**している子育て世代(25才～44才)の男性は**18.2%**で全国(16.2%)より高い。

出典：埼玉県 令和3年度版男女共同参画に関する年次報告「みんなですすめよう男女共同参画」より

主婦のひとりごと

子育ては過ぎてみれば「あんなこともあったな」と大抵は思い出の1ページになっているのですが、我が家の長男は夜泣きがひどく、当時「**孤育て**」になっていた私は、毎晩夜が来るのが怖いくらいでした。日中泣くのは別物の狂ったような泣き声が静けさの中でやたらと響き、抱っこしながら、隣に寝ている夫を起こさないように気を遣ったものです。こんな時、**夫も育児休業が取れていたら、コミュニケーションももっと上手にとれていた**かもしれません。

とはいえ、**男性の育休取得は、職場の人への仕事の負担を考えると遠慮しがち**になったり、お給料も減ってしまうことで使いにくい方もまだまだ多いと思います。発展途上の制度でしょうが、**生まれてきた命は社会みんなで育てていく**気持ちが共有できていくといいと思います。

10月から始まった「産後パパ育休」についてなど、皆さまのご意見も是非お聞かせください！